

向学館通信

2007・2・26

期末テストが終わると新学年の準備です。

学習がおくれている人、どこかの単元をやり直したいという人、基礎固めしたい人は、期末テストが終わってから春休みまでが絶好のチャンス。勉強の仕方など、相談に応じます。大切な人生ですから、時間を有効に使ってください。

期末テストの時期です。テスト対策について。

最近入塾した中学生のA君、これまで数学が苦手で50点をとったことがないと言っていました。基礎的なことを大急ぎでやり直して「こんどは70点は取りたい」と言うようになりました。また、中学生のBさんも、入塾してまだ3ヵ月もたないのですが、英語が覚えられない（覚える努力をしてこなかった）ために、これまでとても低い点数しか取れなかったのですが、こんどは高得点を取ろうと意気込んでいます。

私たちは、こうした前向きの生徒たちの希望をかなえさせたいと、テスト対策に励んでいます。でも、こういう話は、塾だから当然すべきことでとりたてて言うほどのことでないかも知れません。しかし、・・・と、敢えて言いたいのは次のようなことです。

たとえば、このA君やBさんが、希望どおり70点とか80点近くの点数が出せたとしたら、この人達その後どう変わるかということを考えていただきたいのです。たった1科目でも、これまでになかった高得点を取ると、自信ややる気が湧いてきます。そして、大事なことは、自分で次の目標を考えて進むようになる、というところまで変化してくれる、ということなのです。自信が人を変えるというのは本当だと、これまで何人もの生徒たちが私どもに教えてくれました。

いつも低い点数しか取れないと、自分は馬鹿なのではないか、とか、努力したってどうせダメなんだ、といった自信喪失と目標喪失がかさなって暗くなります。そういう自分をひっくり返して『やればできる』という自覚と誇りが持てる状態へと、自分を変化させるためのチャンスが、定期テストなのです。

だから、私たちは、定期テストの場を「チャンス」ととらえるように指導していきたいと考えます。あーあ、テストか、いやだなあ、といった受けとめ方ではなく、これを突破すれば自分を今より高いレベルに上げられる、ありがたい機会なのだと思うようにしたい、と考えています。ご家庭でも、テストに対してはこうした意義を共有していただきたいと思います。そして、子供たちに真剣な努力をしてもらおうようにしてください。

中学生になると、定期テストは避けられません。どうせ逃げられないのだから、前向きに考えたほうがトクです。成績のいい子は、自分のこの間の学習の成果をためすために、また、このテストを一層確実な学力をつけるための「機会」として励みましょう。他方、成績の良くなかった生徒たちは、それよりもっと重い課題を背負ってこの定期テストに臨んでいるわけで、よりよい明日への大きな「機会」としてください。

（当塾では、定期テストの2週間くらい前から、当塾で受講している科目については、プリントや過去問を生徒にわたしています。それらをキチンとやれば、高得点がとれる質と量の問題です。だから、この時期は、家でどれだけ、問題をこなすかが勝負です。とても塾だけでこなせる量ではありません。家庭での学習時間が少ない人は、わたしたちプリントの半分もできないはず。この点の管理・監督もご家庭でしてください。ご家庭で監督が難しいようならご相談に応じます）。

新中3生（内部進学を除く）は、模擬テストを開始します

学校のテストだけでは、実力はわかりません。だから、高校受験のための実力測定を専門の模擬テスト会社のものを受けていただいています。当塾では「大阪進研」の「Vもし」を実施しています。これは関西一円で実施されていて、私学などの入試では、ひとつの有力な参考資料となっています。模擬テストはそれまでに習った全範囲から出題されますので、本当の力がわかります。

テストは塾で行います。3月末～4月初めに第一回を行い、12月まで合計6回行います。中3生は、原則として全員毎回受験していただき、入試対策の資料とします。

該当者には、別にくわしくお知らせします。